

1 学校教育目標

「聴く・認める・伝え合う」主体的に学び合う子どもの育成

人権教育を基盤として、子どもと子ども、子どもと教職員、教職員と保護者、
教職員と地域 のそれぞれがつながり「**チーム大成**」をめざす。

2 めざす学校像 あいさつと笑顔にあふれ、安心できる「あいうえお」の学校

あ・・・あいさつがとびかう学校
い・・・いじめのない学校
う・・・うんどうが大好きな学校
え・・・えがおいっぱいの学校
お・・・おそうじを頑張る学校

3 めざす子ども像

自分と友達と学校を大切にする子

「やってみよう・ありがとう・なんとかなる・ありのままに」

4 めざす教師像 『子どもの「笑顔とやる気と安心感」を大切にする教職員』

子どもと子どもをつなげる教師（人ボンド）

- (1) なかまを認め、聴き、伝え合い、主体的に学び合う授業を実践できる教師
- (2) 子どもに生活の中で起きる問題と向き合わせ、学びの宝としていく教師
- (3) 「チーム大成」として、やる気とやりがいをもち
ポジティブに協働歩調で進むことができる教師
- (4) 子どもと子どもをつなぎ自分たちで考えて行動できる指導を実践できる教師
- (5) 子どもの声を聴き、いつも子どもの目の高さで判断することを心がける教師
- (6) 人権感覚を備え、差別に対して具体的に行動できる教師

六つの重点目標

(1) 『聴く』 学び合いを大切にした授業づくりをしよう

- ① 「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業の確立
- ② 全ての子どもがわかりやすい特別支援教育の手法を授業にいかす
- ③ ICTを効果的に活用した個別最適化された学習の工夫

(2) 『聴く』 仲間を大切にする心を育てよう

- ① 子どもの思いや課題を 言葉やしぐさ等から正確にとらえ、子どもと子どもをつなげる
- ② 相手の立場に立ち、互いを認め合える子どもの育成

(3) 『聴く』 コミュニケーション力を育てよう

- ① 元気なあいさつの音が響き渡る学級・学校づくり
- ② 人の話をしっかり聞き、自分の考えや思いを伝える子どもの育成

(4) 健康な体をつくろう

- ① 健康と安全に関心をもち、生活リズムを自分で整えられる子どもの育成
- ② 新体力テストの活用と体を動かす環境設定

(5) 保護者・地域の方とともに子どもを育てよう

- ① 学校・学年・学級だよりによる情報発信
- ② 保護者・地域と連携した安全・安心な環境の整備

(6) 総勤務時間縮減に取り組もう

- ① 定時退校日の設定と実行
(定時退校を週1回(5月以降)、完全定時退校日を月1日設定し、設定した日の定時に退校できる職員の割合85%以上を目指す。)
- ② 行事の精選を行い、業務内容のスリム化を図る☆目標☆
(一人当たりの月平均時間外在校等時間 30時間以下)
(時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 0人)
(時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数 0人)
(一人当たりの年間休暇取得日数 20日以上)
(放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 80%以上)
- ③ 組織的対応により、諸課題の早期対応・早期解決を図る